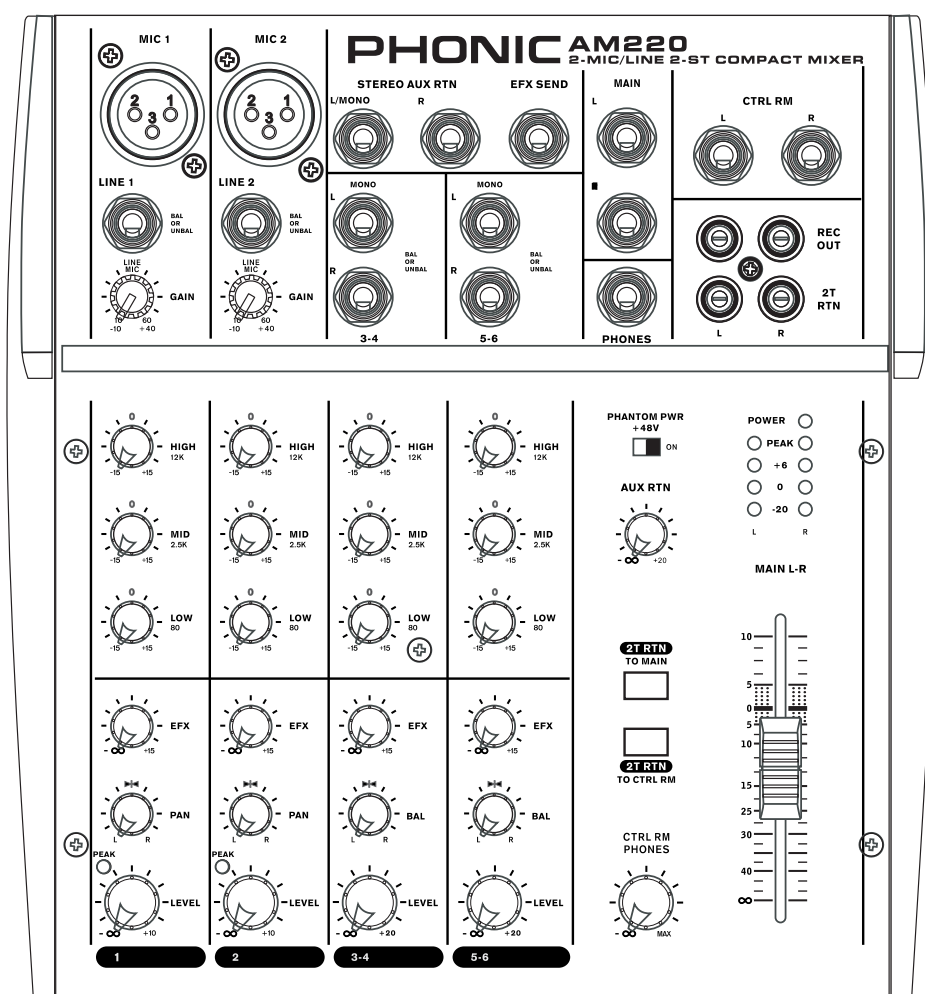


PHONIC

AM120 MKIII/AM220 COMPACT MIXERS



AM220

取扱説明書

AM120 MKIII /AM220

COMPACT MIXERS

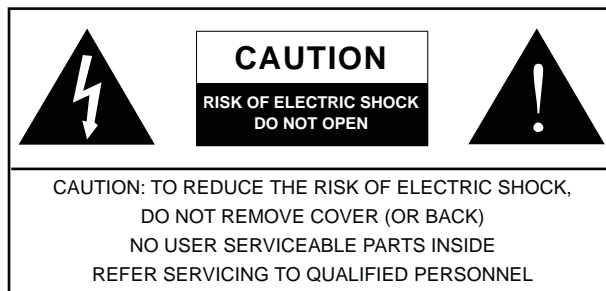
CONTENTS

ご使用頂く前の準備	3
機器の接続	4
入出力	4
リアパネル	5
コントロールと設定	6
チャンネルコントロール	6
マスターセクション	7
仕様	8
接続例	9
寸法	11
ダイヤグラム	12

安全上のご注意

当製品を安全かつ正しくお使い頂く為に、「安全上のご注意」及びこの取扱説明書を必ずお読み下さい。
お読み頂いた後は、保証書と一緒に大切に保存して下さい。

1. この取扱説明書に従ってご利用下さい。
2. 温度の高い場所(直射日光が当たる場所や暖房器具の側など)や、湿度の高い場所(水気の近くや雨中などの濡れる場所)でのご使用・保管はお止め下さい。
3. 当製品を改造・分解しないで下さい。
4. 当製品は精密機器です。強い振動や衝撃を与えると内部に異常をきたす恐れがあります。運搬、ご使用の際の振動や落下に十分ご注意下さい。
5. 長時間で使用されない時は、電源の元となる電源コードをコンセントから抜いておいて下さい。
(乾電池をご使用頂く製品は乾電池を取り外して下さい)
6. 100V 50/60Hzの定格電圧でのみご使用下さい。
7. 換気が必要とする機器は通気口を塞がない様にお気をつけ下さい。
8. 機器同士をケーブルで繋ぐ際は、全ての機器を繋ぎ終えた上で、電源を入れて下さい。また、電源を入れる前に機器のボリュームが最小値になっていることを確認して下さい。
9. 電源コード及び接続部には負荷がかからない様ご注意下さい。
10. 修理が必要な場合は、ご購入頂きました販売店様へご連絡を頂き、修理依頼をお願いします。
保証書が無い場合は保証が適応されませんので、大切に保管して下さい。



このマークは、製品の筐体の内部に電圧が流れており、感電する危険があることを示しています。



このマークは、付属の取扱説明書に大切な安全上の注意や操作方法が記載されていることを示しています。

ご使用頂く前の準備

1. 本機器の電源がすべてオフになっていることを確認して下さい。
2. フェーダーとレベルコントロールを最小値にセットします。
3. 使用する楽器や入力機器を、本機器の各入力端子に接続します。
4. 使用する出力機器を本機器の各出力端子に接続します。
5. 付属の電源ケーブルを繋ぎ、電源を入れます。

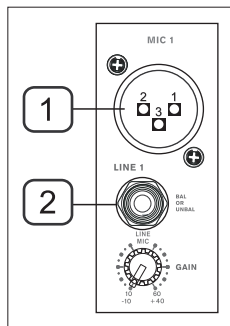
機器の接続

入出力

1. XLR入力端子

バランス/アンバランス対応のXLR入力端子です。

注:コンデンサーマイクを接続する場合は、ファンタム電源を使用してください。ファンタム電源を使用される場合は使われるマイククロフォンの仕様を十分に確認ください。不適切な使用をされた場合に機材が破損する恐れがあります。

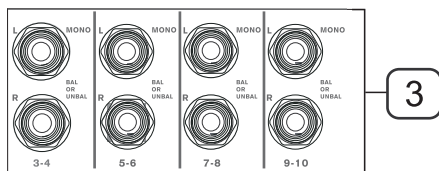


2. ライン入力端子

バランス/アンバランス対応の、1/4"TRS/TSフォン入力端子です。

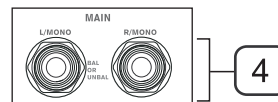
3. ステレオチャンネル

AMミキサーには、柔軟性を高めるために複数のステレオチャンネルが用意されています。各ステレオチャンネルに1/4"フォン入力端子が2つ装備されており、電子キーボードやギター、外部のシグナルプロセッサやミキサーを接続出来ます。



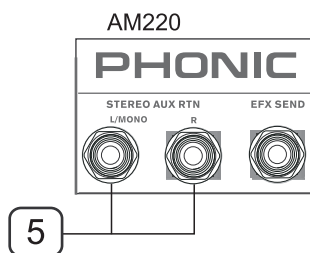
4. メイン L/R出力端子

パワーアンプ、モニター等の外部機器にメイン出力を送信する1/4"フォン出力端子です。(AM220の場合はバランス信号、他機種はアンバランス信号)



5. STEREO AUX RTN (AM220のみ)

外部のシグナルプロセッサで処理された音声リターン信号をAM220ミキサーに入力する1/4"フォン端子です。また必要に応じて追加入力として使うことが出来ます。

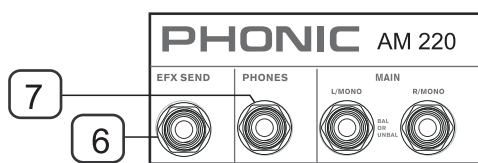


6. EFX センド (AM220のみ)

外部のデジタルエフェクト・プロセッサーを接続したり、アンプやスピーカーなど、目的とするセッティングに応じた機器を接続したりする1/4"フォン端子です。

7. ヘッドフォン端子

ヘッドフォンを接続してミキサー出力をモニターすることが出来ます。

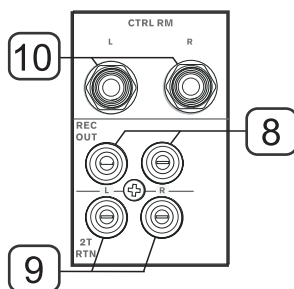


8. REC OUT

RCAケーブルを接続して、録音機器に信号を送ることが出来ます。

9. 2T RTN

テープデッキやCDプレーヤーなどの外部機器を接続する際に使用します。入力された信号はメイン L/Rまたはヘッドフォン端子から出力されます。



10. CTRL RM出力 (AM220のみ)

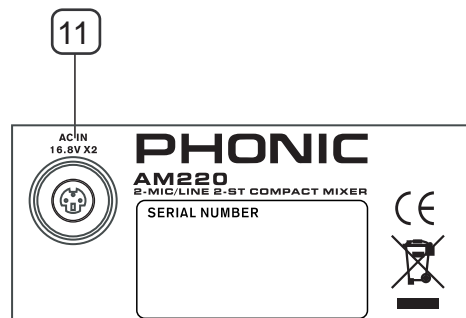
CTRL RM/PHONESコントロールでレベル調整された信号を出力する1/4"フォン出力端子です。

リアパネル

11. 電源コネクター

付属の電源ケーブルを接続します。

※本製品に付属する電源ケーブルを必ずお使い下さい。



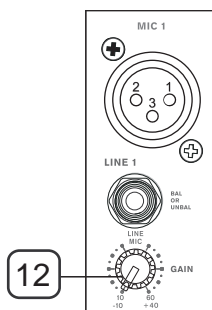
コントロールと設定

チャンネルコントロール

12. LINE/MIC

ゲインコントロール

ライン/マイク入力信号のゲインを調整します。AM120 MKIIIの場合、チャンネル1だけに装備されており、AM220の場合は、チャンネル1と2にそれぞれ用意されています。



13. Highコントロール

高音域 (12kHz) を $\pm 15\text{dB}$ の範囲でブースト/カットします。

14. MIDコントロール (AM220のみ)

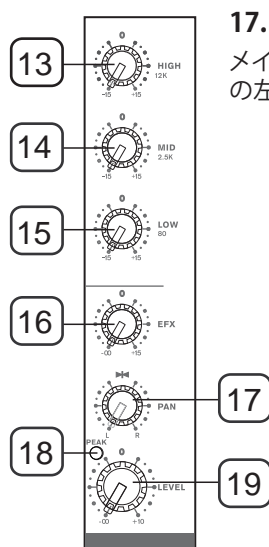
中音域 (2.5kHz) を $\pm 15\text{dB}$ の範囲でブースト/カットします。

15. LOWコントロール

低音域 (80Hz) を $\pm 15\text{dB}$ の範囲でブースト/カットします。

16. EFXコントロール (AM220のみ)

EFX SEND出力に送られる信号レベルを調整します。



17. PAN/BALコントロール

メインL/Rに入力される信号レベルの左右のパンを調整します。

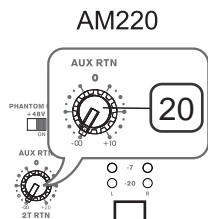
18. PEAKインジケータ

入力信号がピークに達してオーバーロードの6dB手前になった際にLEDが点灯します。最適な状態を得るために、PEAKインジケータが時々点灯する程度にゲインを調整して下さい。

19. レベルコントロール

該当するチャンネルからメインミキシングバスに送られる信号のレベルを調整します。

マスターセクション

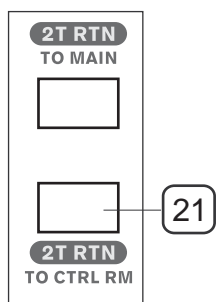


20. AUX RTNコントロール (AM220のみ)

AUX STEREO RETURN入力からメイン L/Rミックスに送られる信号レベルを調整します。

21. 2T RTNボタン

上のボタン (TO MAINボタン) を押すと、メイン L/Rミキシングバスに信号が送られます。また、下のボタン (TO PHONESまたはTO CTRL RMボタン) を押すと、PHONES (CTRL RM/PHONES) ミキシングバスに信号が送られます。2つのボタンは同時にオンにすることも可能です。



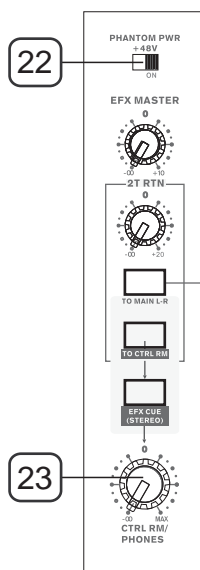
22. ファンタム電源スイッチ

各マイク入力に+48Vファンタム電源が供給され、これらのマイク入力でコンデンサーマイクが使えるようになります。

注: ファンタム電源はコンデンサーマイクを使うときのみオンにして下さい。ファンタム電源を使用される場合は使われるマイクロフォンの仕様を十分に確認ください。不適切な使用をされた場合に機材が破損する恐れがあります。

23. ヘッドフォン(CTRL RM)コントロール

AM120 MKIIIの場合、ヘッドフォン出力に送られる信号レベルを調整するのに使います。AM220の場合は、ヘッドフォン出力レベルだけでなく、CTRL RM出力も調整できます。



24. メイン L/Rコントロール

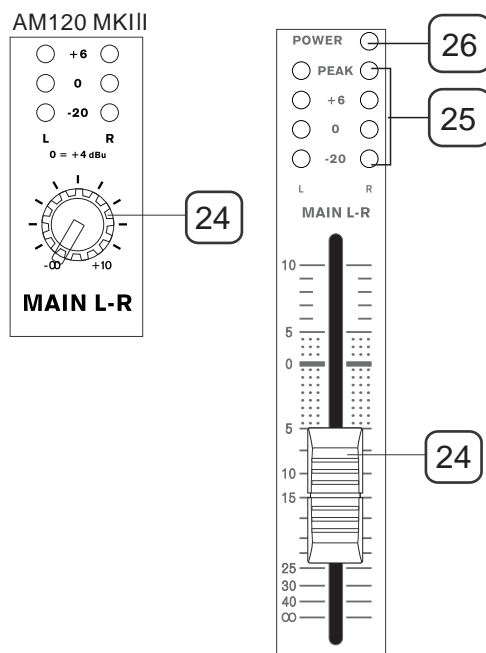
メイン L/R出力に送られる信号レベルを調整します。

25. レベルメーター

MAIN L/Rの出力レベルをリアルタイムで確認出来ます。できるだけ十分な音量を得るために、PEAKランプが時々点灯する程度に各コントロールを調整して下さい。

26. POWERインジケータ

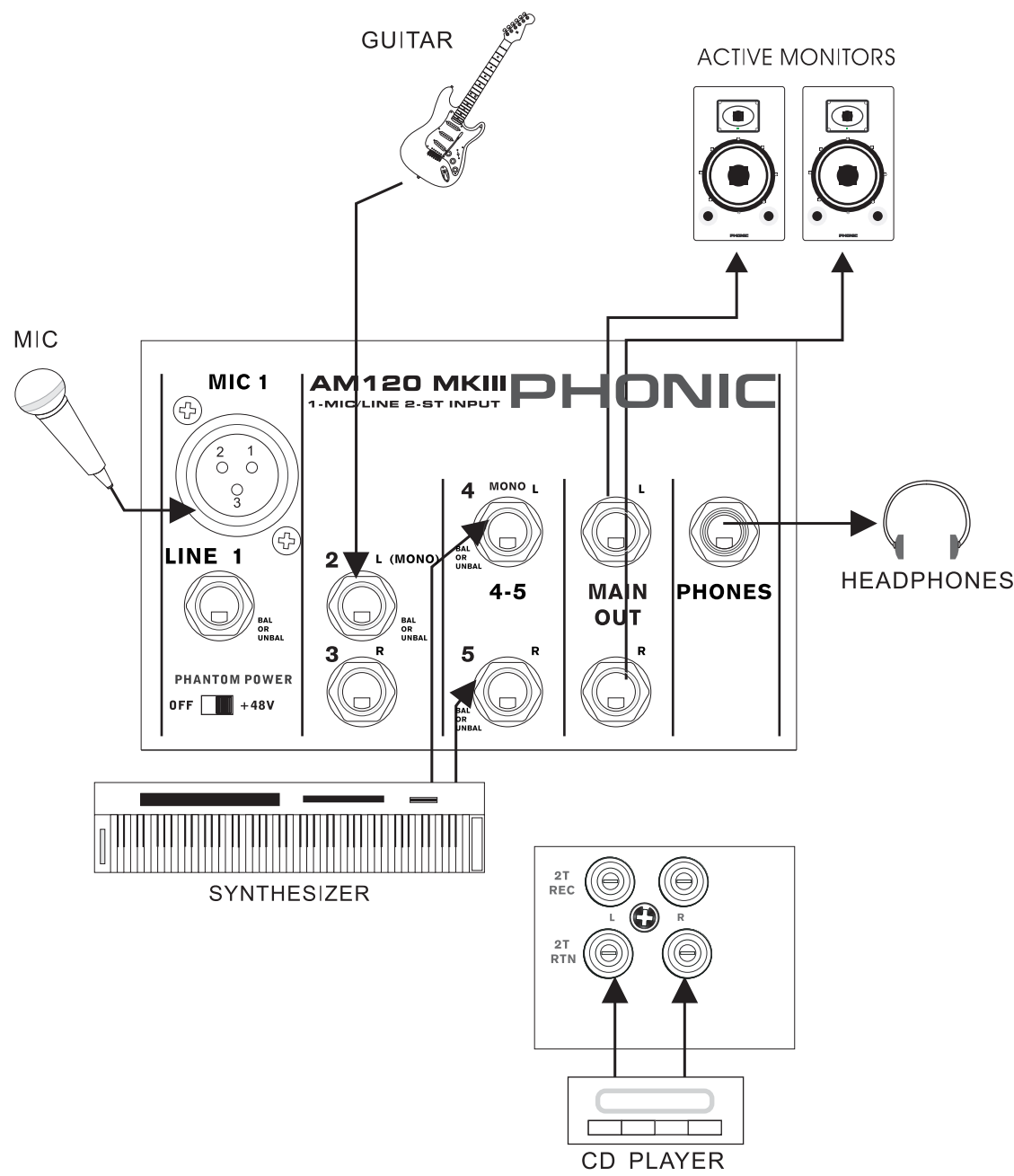
本機器の電源がオンのとき点灯します。

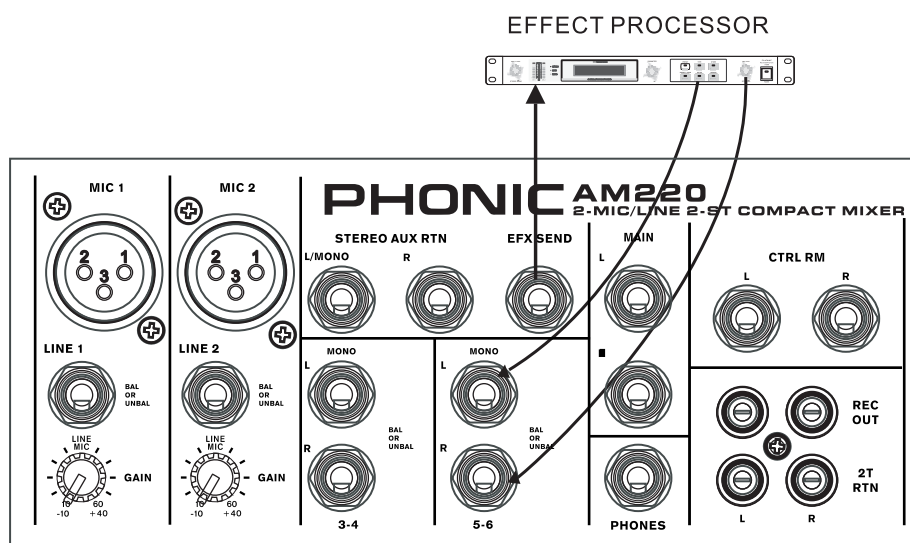
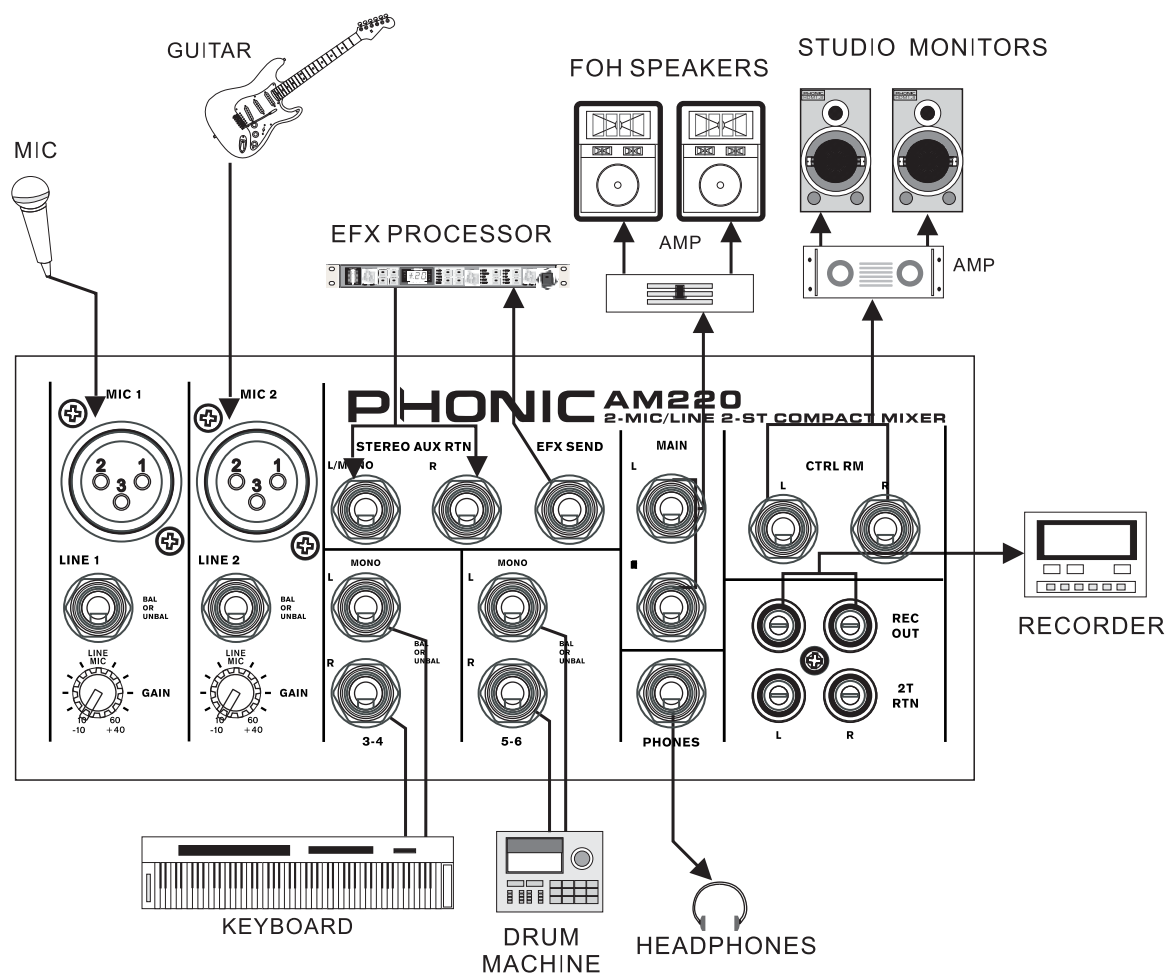


仕様

	AM 120 MKIII	AM 220
入力: 全チャンネル数 バランスモノラル マイク/ラインチャンネル バランスステレオ ラインチャンネル AUXリターン 2T入力	3 1 2 なし ステレオRCA	4 2 4 ステレオ×1 ステレオRCA
出力: メインL/Rステレオ REC OUT コントロールルームL/R フォン出力	アンバランスタイプ、2×1/4"フォン ステレオRCA なし 1	バランスタイプ、2×1/4"フォン ステレオRCA 2×1/4"フォン 1
チャンネルストリップ EFXセンド パン/バランス調整 ボリューム調整 インサート	3 なし あり Rotary 1	4 1 あり Rotary なし
マスターセクション: フォンレベル調整 メインL/Rレベル調整	あり Rotary	あり 60mmフェーダー
メーター: チャンネル数 セグメント	2 4	2 4
ファンタム電源	DC48 V	DC48 V
周波数応答(マイク入力・出力間): 20Hz~60kHz 20Hz~100kHz	+0/-1 dB +0/-3 dB	+0/-1 dB +0/-3 dB
クロストーク(1kHz@0dBu、帯域幅20Hz~20kHz、チャンネル入力・メインL/R出力間): Channel fader down, other channels at unity	<-90 dB	<-90 dB
ノイズ(20Hz~20kHz、メイン出力で測定、チャンネル1~4@ゲイン×1、EQフラット、全チャンネルメインミックス、チャンネル1/3左端、チャンネル2/4右端、リファレンスレベル+6dBu): マスター@unity, channel fader down マスター@unity, channel fader @ unity S/N比、リファレンスレベル+4dBu	-86.5 dBu -84 dBu >90 dB	-86.5 dBu -84 dBu >90 dB
マイクプリアンプE.I.N.(終端150Ω、ゲイン最大)	<-129.5 dBm	<-129.5 dBm
THD(全出力、1kHz@+14dBu、20Hz~20kHz、チャンネル入力)	<0.005%	<0.005%
CMRR(1kHz@-60dBu、ゲイン最大)	80 dB	80 dB
最大レベル: マイクプリアンプ入力 他の入力 バランス出力	+10 dBu +22 dBu +28 dBu	+10 dBu +22 dBu +28 dBu
インピーダンス: マイクプリアンプ入力 他の入力(インサートを除く) RCA 2T出力	2 kΩ 10 kΩ 1.1 kΩ	2 kΩ 10 kΩ 1.1 kΩ
EQ: LOW EQ MID EQ HIGH EQ ローカットフィルター	2/バンド、±15 dB 80 Hz なし 12 KHz 75Hz(-18 dB/oct)	3/バンド、±15 dB 80 Hz 2.5KHz 12 KHz なし
重量 サイズ(W×H×D)	1.1kg 155.6 x 50.5 x 244 mm	1.5kg 190 x 56 x 233 mm

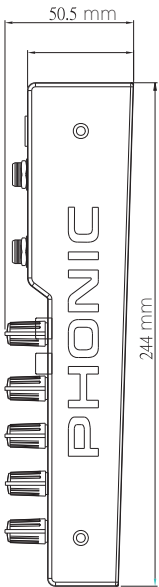
接続例



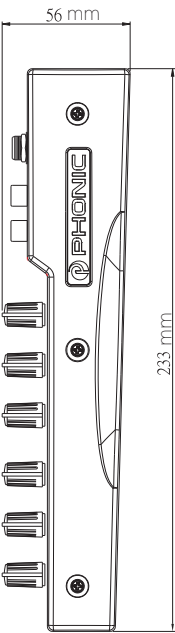
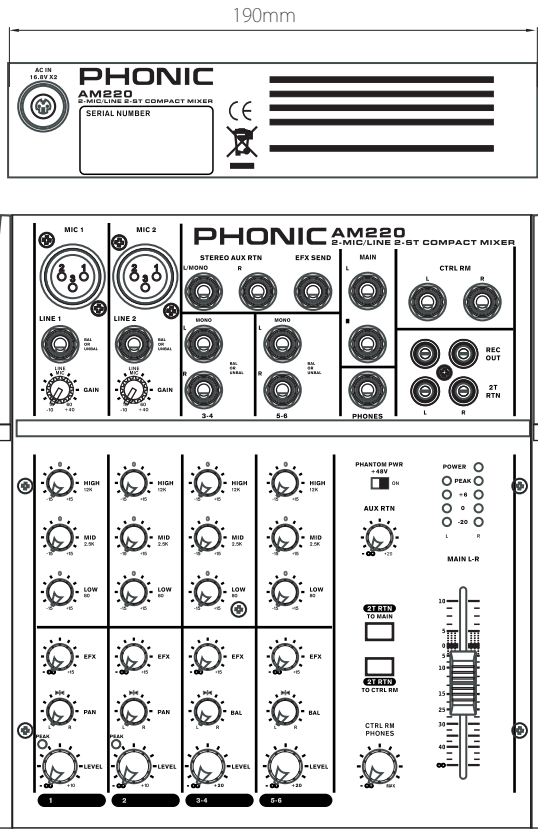


寸法

AM 120 MKIII

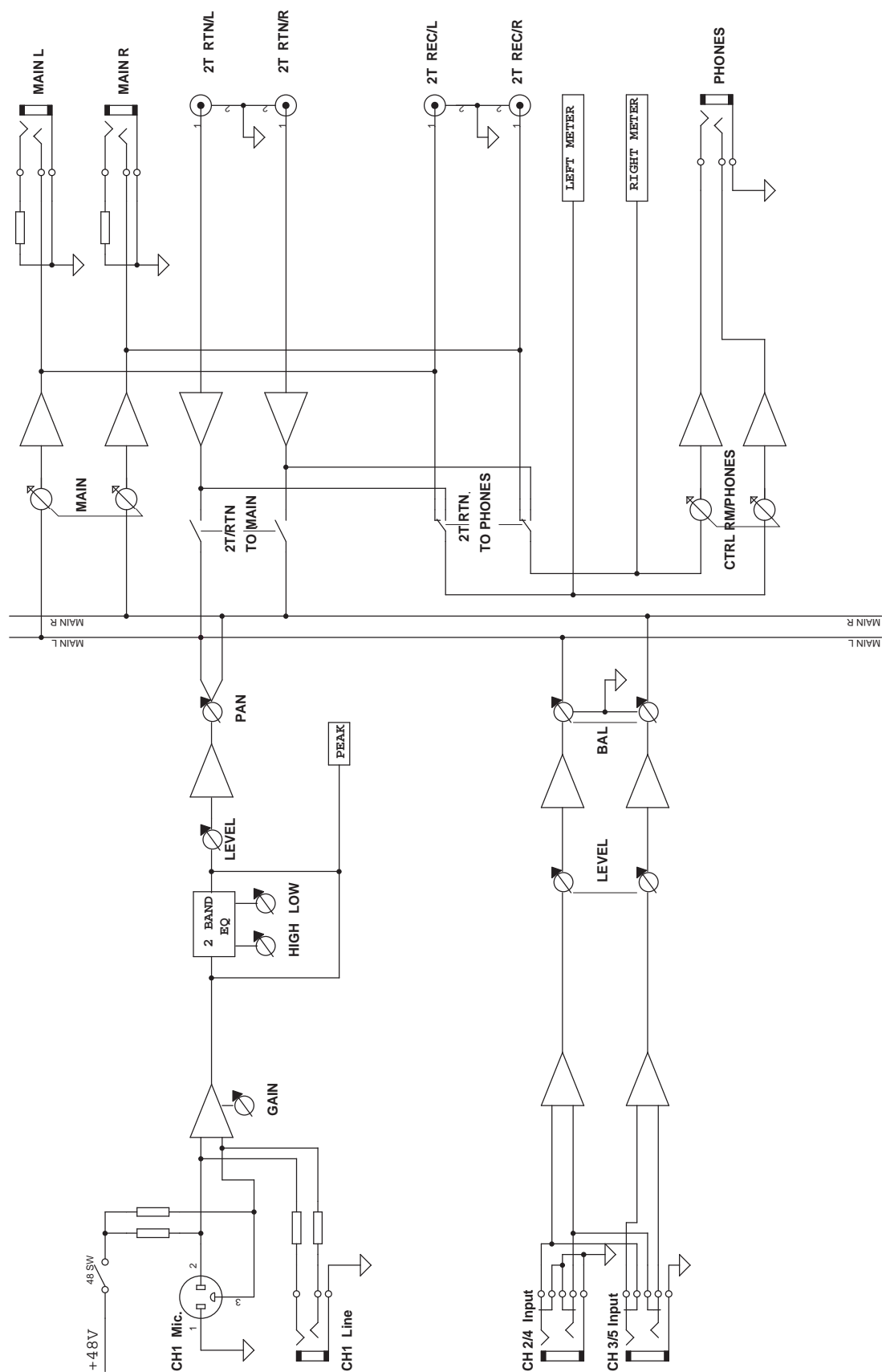


AM 220

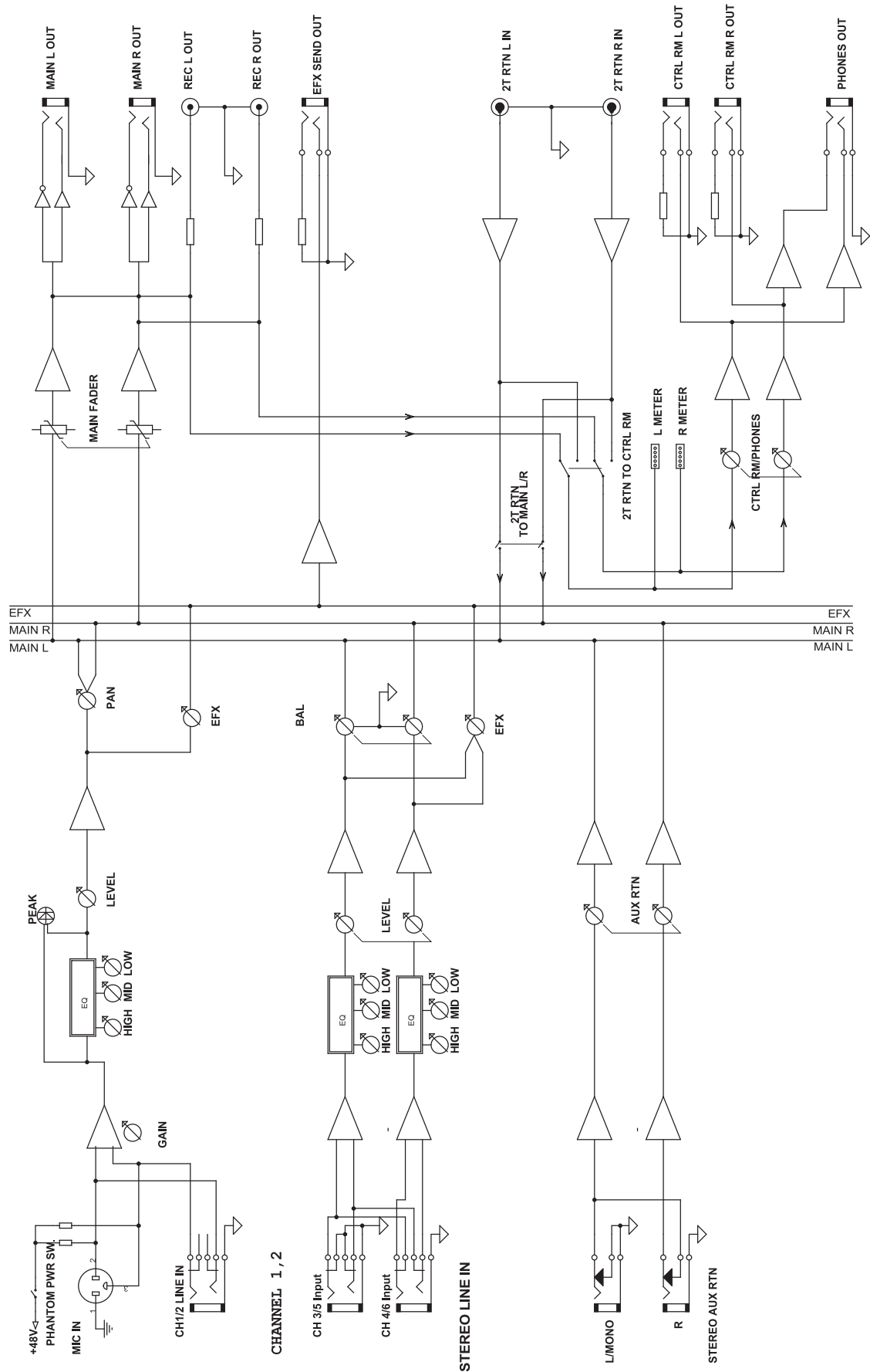


ダイヤグラム

AM120 MKIII



AM220



PHONIC
WWW.PHONIC.COM



PHONIC 正規輸入代理店
株式会社 キョーリツコーポレーション
www.kcmusic.jp/